

農林大学校

耕土耕心だより

今、農林大学校では

1. 先進経営研修報告会

養成部 2 年生が、県内の先進経営体で優れた技術や経営管理について学んだ 2 か月間の研修の報告会を、2 月 15 日に行いました。研修を全うできた満足感と、経営体への感謝の気持ちが伝わってくる発表が多く、学生の成長を実感することができた報告会でした。

2. 養成部 1 年生は期末試験

平成 18 年度の後期試験が 2 月 20 日から 22 日までの 3 日間実施されました。この試験の結果が進級に影響するため、夜遅くまで試験勉強に取り組む学生の姿が多く見受けられました。

3. 卒業論文発表会

園芸学科 2 年生の卒業論文発表会が、3 月 1 日、2 日に、林業学科では 3 月 2 日に行われました。卒業論文は 2 年間の学生生活の総仕上げです。年が明けてから学生と担当職員は、卒論の仕上げと発表準備に取り組んできましたが、その成果が遺憾なく発揮された発表会でした。

農林大学校の取組み

1. 林業技術講座（新森林作業システムオペレータ研修及び林業指導者養成研修）の実施

森林づくりを支える林業者の育成・確保のため、2 つの研修事業を行ないました。新森林作業システムオペレータ研修は、森林作業の安全性や作業効率の向上のため、高性能林業機械の操作技術、メンテナンス及び作業システムについての実践研修です。本年度は、5 名の研修生に対し、10 月 31 日から 12 月 22 日にかけての 9 日間、県林業技術センターでの講義のほか、森林作業現場でのプロセッサ（造材機械）、グラップルローダ（木材積込積降機械）、フォワーダ（木材運搬車）の操作実習を行ないました。なお、本研修は平成 3 年度から実施され、平成 17 年度より農林大学校の研修事業として引き継がれました。本年度を含めてこれまでに 119 名が研修を修了し、地域林業の中核として活躍しています。

林業指導者養成研修は、森林作業現場において、新規就業者等への安全で効率的な作業技術指導が行なえる林業指導者を養成するための研修です。本年度は、6 名の研修生に対し、12 月 4 日から 1 月 19 日にかけての 10 日間、林業技術センターや森林作業現場を研修場所として実施しました。研修内容として、森林林業の役割、林業労働災害の防止、安全な森林作業の実施、生産性向上のための経営管理・作業システム等についての講義・討議及び現場での技術指導実習等を行ないました。なお、本研修は平成 17 年度から開始され、本年度の 6 名を含めてこれまでに 13 名が研修を終えており、作業現場での適切な技術指導のほか、県などが行なう研修等の講師としての活躍が期待されています。



新森林作業システムオペレータ研修
プロセッサ（奥）で造材し、グラップル
ローダ（中）で木材をフォワーダ（手前）に
積んで運搬する



林業指導者養成研修
刈払い機の安全操作指導実習

2. 「大学校の教育について御意見を伺う会」の開催

「大学校の教育について御意見を伺う会」を農業経営士、農業法人代表、農業高校校長など5人の有識者の出席を得て、2月8日（木）に開催しました。

この会は、本校の現状を理解していただくとともに、幅広く意見をいただき、教育内容の改善や学校運営の参考とするために、平成15年度から開催し、今年度で4回目となります。

今回は人材育成の方向性や社会人向け研修のあり方などをテーマに御意見をいただきました。出席した有識者の方々からは、人材育成の方向性として「今は農業経営が厳しく就農希望者の受け皿は少ないが、学生の進路については既成概念にとらわれず、学生の夢を実現することを考えてほしい。」という意見や「単なる技術でなく技能を身に付けてほしい。」「農業をベースにした新しい分野のノウハウを持った人材が求められる。」といった御意見をいただきました。

また、社会人・就農希望者向けの研修については「就農する場合の支援だけでなく、退職者等が今まで培ったノウハウを農業に活用できるような支援を」という御意見や「趣味でなく本気で就農を希望する人に対する研修は有料にしたほうがよいのではないか。」などの御意見もいただきました。

今回いただいた意見は、今後の大学校運営に活かしていくとともに、次年度以降も引き続きこのような機会を設け、開かれた大学校を実現していきたいと考えています。



有識者から御意見を伺う

3. 海外に進出している農業者による講演会を開催

磐田市で鉢物花きを生産している(有)ジッポー代表の服部一夫氏を農林大学校にお招きして、2月14日に講演会を開催しました。県内の農業者、本校学生を対象とし、海外の農業事情に目を向ける機会を設け、国際的な視野をもってもらうのが目的です。

講演会では、農業経営を志した経緯、欧米や東南アジア各地の実情を見た後、タイに農場を開設し日本に輸出したが現在は閉鎖したこと、タイ進出の利点と問題点(格安な人件費や輸送費、植物の生長が早くその種類も多いこと、日本と異なる会計法や社会システム)、同じ場所(分野)に留まるのではなく新しい場所(分野)を探しオンリーワンを目指す必要があること等について話がありました。

実際にタイに進出した経験に基づいた講演は興味深く、何事にも積極的に取り組み、努力するという農業者としての心構えを教えていただいた講演でした。



< 講演の様子 >

3月の主な行事予定

日	行事(内容)	担当部・課
1日(木)～ 2日(金)	園芸2年生卒論発表会	教務課
2日(金)	園芸2年生終業式	
2日(金)	林業分校卒論発表会	林業分校
15日(木)	卒業式	